

事業完了報告書

提出日：令和5年3月 日

1. 事業概要

- (1) 実行団体名：特定非営利活動法人宇和島 NPO センター
- (2) 事業名：平成30年7月豪雨災害からの復興に向けた被災者再建と地域食堂が連携した居場所づくり支援プロジェクト
- (3) 事業実施期間：2021年6月4日～2023年3月31日
- (4) 資金分配団体名：一般社団法人RCF

2. 規程類の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

| |
|---|
| (1) 事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 完了 / <input type="checkbox"/> 整備中 |
| →上記で「整備中」を選択した場合、整備できていない理由を記載してください。また、事業開始時と比較して、整備状況が改善された点を記載してください。 |
| (2) 整備が完了した規程類を自団体の web サイト上で広く一般公開していますか。 |
| <input type="checkbox"/> 全て公開した / <input checked="" type="checkbox"/> 一部未公開 / <input type="checkbox"/> 未公開 |
| →上記で「一部未公開」または「未公開」を選択した場合、その理由と公開予定日を記載してください。 |
| (3) 変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 変更があり報告済 / <input type="checkbox"/> 変更があったが未報告 / <input type="checkbox"/> 変更はなかった |
| →上記で「変更があったが未報告」を選択した場合、その理由を記載してください。 |

3. ガバナンス・コンプライアンス体制の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

| |
|---|
| (1) 社員総会または評議員会、理事会は、規程類の定めるとおりに開催されていますか。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> はい / <input type="checkbox"/> いいえ |
| →上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。 |

| |
|---|
| (2) 内部通報制度は整備されていますか。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> はい / <input checked="" type="checkbox"/> いいえ |
| →上記で「はい」を選択した場合、設置方法を以下から選んでください。(複数選択可) <input checked="" type="checkbox"/> 内部に窓口を設置 / <input type="checkbox"/> 外部に窓口を設置 / <input type="checkbox"/> JANPIA の窓口を利用 |
| (3) 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> はい / <input type="checkbox"/> いいえ |
| →上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。 |
| (4) 関連する規程類や資金提供契約の定めるとおりに情報公開を行っていますか。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> はい / <input type="checkbox"/> いいえ |
| →上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。 |
| (5) コンプライアンス責任者を設置していましたか。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> はい / <input type="checkbox"/> いいえ |
| →上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。 |
| (6) ガバナンス・コンプライアンス体制の整備や強化施策を検討・実施しましたか。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> はい / <input type="checkbox"/> いいえ |
| →【任意】上記で「はい」を選択した場合、どのような検討・実施をしたか事例を記載してください。 |
| (7) 団体の決算書類に対する会計監査はどのように実施しましたか。本事業の最終年度の状況を選択してください。(実施予定の場合を含む) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 外部監査 / <input checked="" type="checkbox"/> 内部監査 ※ (複数選択可) |
| →上記で外部監査/内部監査を選択した場合、その実施者/実施時期を記載してください。 |
| (8) 本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。 |
| <input type="checkbox"/> はい / <input checked="" type="checkbox"/> いいえ |

4. 広報実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、設問に回答してください。

| (1) シンボルマークの活用状況 | |
|---|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 自団体のウェブサイトに表示している | ／ <input checked="" type="checkbox"/> 広報制作物に表示している |
| <input type="checkbox"/> 報告書に表示している | ／ <input checked="" type="checkbox"/> イベント実施時に表示している |
| <input type="checkbox"/> その他 | |
| →「その他」を選択した場合は記載してください | |
| (自由記述)： | |

最終年度の広報実績について記載してください。

| 広報種類 | 有無 | 内容 |
|-----------------------------|----|---|
| メディア掲載 (TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等) | 有 | <p>毎週水曜日 FM がいやで 13:00～13:55CStoys で出演できる時。イベント案内やセンター活動報告等を YouTube 同時配信</p> <p>宇和島 NPO センターホームページ、Instagram、Facebook、公式ラインで活動報告、イベント予定、ボランティアバンク募集、ボランティア活動募集を周知</p> <p>R3.7.7 愛媛新聞 西日本豪雨 3 年宇和島で線香花火ナイト 全国一斉に鎮魂の明かり灯す</p> <p>R3.7.8NHK 盛岡放送 西日本豪雨 3 年復興願う「希望の灯り」が被災地を繋ぐ</p> <p>R3.7.10 地元テレビ UCAT BLUE SHIP 7.10 うわかいまるまる海掃除 (宇和島市 3 地点同時開催)</p> <p>R3.1.30NHK 松山 うわじま防災BOXハイブリット開催 広報うわじま R4.7 月号に活動紹介</p> <p>R4.4.22 愛媛新聞学習プログラム「ブラ防さんぽ」(7月3日)</p> <p>R4.8.23 愛媛新聞「災害ケースマネジメント」</p> <p>R4.9.18 愛媛新聞「体験型防災プログラムうわじま防災BOX×子ども食堂」</p> <p>R4.9.26 愛媛新聞「西日本豪雨被災 復旧状況 砂防ダム見学吉田町白井谷」</p> <p>R4.10.24 神戸新聞 ぼうさいこくたい 2022 出展</p> <p>R4.10 視覚障がい者ガイドヘルパーボランティア活動</p> <p>R5.1.25 愛媛新聞 「ブラ防さんぽ」</p> <p>R5.2.6 愛媛新聞 NPO まつり</p> |

| | | |
|--------|---|---|
| 広報制作物等 | 有 | <ul style="list-style-type: none"> ・ビブス：ボランティア活動時に着用するため背面に宇和島 NPO センターの QR コードを張り付けた 17 着作成し、ホームページへアクセスしていただき活動内容を広報 ・イベントチラシ：うわじま防災 BOX1000 部・各イベントごとに持参できる 3 つの QR コード 500 部（公式ライン、つながるポスト『皆さんのお困り事を入力できるフォーム』、ボランティアバンク『自分の得意分野で活動できるボランティア登録フォーム』のパネル各 1 枚ずつを作成し設置、ボランティアバンク登録チラシ 1000 部他各イベントでチラシ作成し、計約 7600 枚作成 ・キャリッジ新聞（宇和島 NPO センター吉田事務所）計 900 部 NPO センター公式ラン QR コードを背面に印刷した、ジャンパー7 着作成し、公式ライン登録がすぐにその場でできるよう広報 |
| 報告書等 | 有 | ホームページのブログ記事で掲載。 |

5. その他（本助成を通じて組織として強化された事項や新たに認識した課題、今後の対応/あればよいと思う支援や改善を求めたい事項など、自由にご記載ください。）

強化された事項として、連携団体が大幅に増えたことにより、ボランティア活動が活発になり、地域向上力の増加、また、個人の自己肯定感の向上につながり、当センターが中間支援組織としての役割を担い活動できる場が広がっていった。活動の場が増え更に各 NPO 団体、行政からの信頼にもつながり企業等との協働も可能となった。

新たに認識した課題として、孤独孤立がかなり急速に進んできていること、また、行政が把握できていない事案がかなりあること。それを当センターがより地域住民に近いところから拾いあげることができる強味であるが、課題解決に向けて、団体整理をしていく事が必須と感じている。

今後の対応として、これまで培ってきた、知識と情報を確実なものにしていき、NPO 団体等との連携強化継続、後追いをしていく。

あればよいと思う支援、改善として、より、資金分配団体との連携や強固な情報共有、サポートが得られることができればと思う。

【添付資料】

活動の様子がわかる写真 5枚程度

JANPIAの事業報告書やWEBサイト、SNS等で公開可能な写真を5枚程度（1枚2MB以下）ご提出ください。（肖像権・著作権に十分にご注意ください。）





毎月第3日曜日に宇和島市住吉校区大浦地区で子ども食堂が開催されている。200食のお弁当を大人200円こども無料で配布。その際、モルックで子ども達と遊んだり、カフェコーナーでお困り事調査など聞き取りを行っている。高校生がカフェコーナーを手伝ってくれたり、地域の方もカフェコーナーに座って、たまたま出会った方たちと会話を弾ませている。ボランティアバンクの募集や公式ラインの登録も促し、活動を周知している。



2022.12.24 に平成 30 年 7 月豪雨で大規模断水があった宇和島市三間地区で活動している団体に今後の災害に向け活動できる団体を繋げていくため、また避難所となる施設に出向いてもらうために多世代交流ができるイベントを開催。社会福祉協議会コーナーで暮らしの心配事相談、市役所保険健康課保健師の健康相談を行い NPO 団体と連携してスノードーム作り、お手玉遊び、お弁当販売、子ども食堂のお弁当配布などを行った。



平成 30 年 7 月豪雨で甚大な被害のあった愛媛県宇和島市吉田町で行われている子ども食堂のいぬび食堂にプレーパークを他団体に依頼し輪投げとモルックを行った。オフィスセイケから無償提供いただいた、仮面ライダーのおもちゃのガチャガチャも行き、多くの子ども達でにぎわった。



R4.10.14 に平成 30 年 7 月豪雨で甚大な被害のあった愛媛県宇和島市吉田町の吉田中学校でこの日数日前の台風で災害を受けた体育館の屋根がはがれ、水浸しになりニュースにもなった。子どもたちの学年には豪雨当時亡くなられた同級生がいたためか子どもたちの災害に関する眼差しは強く感じた。土のうのニーズは今でも続いている、実際に 200 袋近く競争しながら作り、みかん農家さんへできた土のうを手渡しできた。

それぞれどんな場面の写真なのか、1 枚あたり 50 字から 200 字程度で説明を記載していただきますようお願いいたします。

※ご提出をもって JANPIA での使用にご了承いただいたこととし、使用時に改めて確認はいたしませんので、ご承知のうえ、使用に差支えのない写真（使用許可をとった写真や個人が特定される写真を避ける等）を選んでいただきますようお願いいたします。